

## 切っ子

第8号



学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成

文責 菊池 典男

11月は和風月名では霜月といいます。これから、日一日と霜が降るような厳しい寒さとなる季節が訪れました。子どもたちには、室内にいる時と室外に出た時では寒暖の差が激しいので、上着などで体温調整をして風邪を引かないように話をしました。

交通安全のために万賀里川の信号機のところで、見守ってくださっている地域の交通指導員の方や駐在所の方に、6年生を中心にきちんとあいさつしている児童が増えてきました。マスクをしているので声は大きくないですが、しっかり声を出してできるようになってきました。あいさつは人と人を結び付ける大切な習慣なので、さらに広がってほしいと思います。

## ◆ 子どもたちの命を守る！！不審者対応避難訓練を行いました！

11月9日に宮城県で、31歳の男性が刃物を持って認定こども園に侵入する事件が発生しました。犯人は侵入後、職員に切りつけようとしたが複数の職員に取り押さえられ、幸い職員や園児にけがなどはありませんでした。犯人は調べに対し「子どもを殺す目的で侵入した」と供述しているそうです。保護者の皆様もご存じだと思いますが、今から20年前に大阪教育大学附属池田小学校で、1・2年生児童8名が不審者に殺害されるという痛ましい事件が発生しています。学校でも平素から、見知らぬ来校者への声かけや来校者へ氏名・所属の名簿記入等を実施し未然防止に努めています。



このことに関連した不審者対応避難訓練を10月27日（水）に行いました。今回の訓練では、唐津警察署生活安全係長の渡辺様と切木駐在所の上田様に来ていただき、子どもたちには自らの命を守るために落ち着いて素早く行動できること、教職員には連携を図りながら迅速かつ適切に行動できることを目標に行いました。



児童玄関に不審者が侵入したという設定でしたが、子どもたちは担任の先生方の指示をしっかり守り、落ち着いて素早く体育館に避難することができました。教職員の訓練は不審者を制圧するために必要なさすまた等の正しい使い方について指導していただきました。

「児童の命や身体は地域で守る」と考えておりますので、不審だと思われる人物を見かけた場合には、学校へ連絡いただければ警察と連携を図りながら対処していきますので、ご協力よろしくをお願いします。

## ◇ 魅力あふれる故郷に！！イルミネーションづくりを行いました！

11月6日（土）に前田勝弘さん（3年生の幸廣さんの父親）のお世話で5・6年生が年末用のイルミネーションづくりに挑戦しました。イルミネーションは全児童が11月中につくります。その時は、5・6年生が低学年や中学年のお手伝いをする予定です。



子どもたちはイルミネーションの様々なところを止めて形にしていくことに苦戦していましたが、友達と協力しながら自分の思い描いた形のイルミネーションを完成させました。12月15日（水）の18:00に点灯式を行う予定にしています。もし、お時間があるようでしたら、子どもたちががんばって作ったイルミネーションをご家族で見ただけいただければと思います。点灯式については、後日、はなまるメールにてご案内する予定です。

## ◇ 楽しかった長崎修学旅行！！たくさんの思い出ができました！

11月15日～16日（月、火）は、三校合同（大良小、竹木場小）の長崎修学旅行でした。天候にも恵まれ、日中は汗ばむほどの晴天でした。

1日目は、全員で長崎原爆資料館を見学した後、松山公園で平和集会を行いました。各学校で考えてきた平和の誓いを発表し合い、平和への願いをより強めました。原爆資料館で写真や遺留品等を目の当たりにした後だったので、戦争の悲惨さをより心に刻めたのではないかと思います。

平和集会では、原爆資料館の入り口に書かれていた「長崎を最後の被爆地に」について話をしました。戦後76年たちますが、一般市民も含めた殺戮を目的に原子爆弾が使用されたのは長崎が最後の地です。76年もの間、原子爆弾が各国の課題解決に使用されなかったのは、当時の子ども、父母、兄弟、祖父母等に思いを馳せ、日本人のみならず世界中の人々が原子爆弾投下のことを想像し心を痛め、二度とこのような悲しい出来事が起こらないように、平和を希求してきたためだと思います。今回学習したことを心に刻み、平和を愛する人に育ててほしいと思いました。平和集会後は各班に分かれて、山里小学校や如己堂、浦上天主堂をフィールドワークをし、戦争についての理解を深めました。



2日目は、全員で長崎歴史文化博物館を見学した後、各班に分かれて長崎の歴史や文化の理解を深めるためにフィールドワークを行いました。この日は、修学旅行の児童・生徒がたくさん長崎市に来ており、路面電車に乗るのにも、昼食をとるにもかなり時間がかかってしまいました。予定していた見学施設を見学できなかった班もあったようですが、地図を片手に友達と相談しながら目的の施設をめざすことで、友達とより仲良くなれたのではないかと思います。長崎修学旅行という貴重な体験を今後の学校生活や卒業後の中学校生活に生かしてください。

### ☆ 長崎修学旅行で一番楽しかったこと、思い出に残ったことの一口感想です！！



|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 伊丹 莉子 | 友達とおみやげを選んで、一緒に買ったことです。            |
| 大久保結夏 | 私は、めがね橋で、お金を投げたのが思い出です。            |
| 坂本 美羽 | めがね橋でハートの石を見つけたことです。               |
| 柴田 悠斗 | 友達と泊ったことや歩き回ったことが楽しくて思い出に残りました。    |
| 豊島 昊  | ホテルで、友達とトランプをしたことです。               |
| 西島 新  | 班の人と仲よく見学できたのが楽しかったです。             |
| 濱口 二胡 | 楽しかったことは、ホテルでウノやトランプをして遊んだことです。    |
| 平藤 羽紗 | めがね橋で、みんなでチリンチリンアイスを食べたのが楽しかったです。  |
| 堀田 夕里 | みんなでトランプやウノをしたり、長崎市内を歩き回ったりしたことです。 |
| 松本優希菜 | おみやげを買う時に、他の学校の人と何を買うかについて話せたことです。 |
| 松本 龍昇 | おみやげ屋さんや昼食で、自分でお金を使ったことです。         |

## ◇ 11月のソーシャルスキルトレーニング！やさしい心を育てる！！

11月のソーシャルスキルトレーニングは「温かい言葉かけができるようになろう」です。大人でも時として、自分の感情や都合で、他者の気持ちや他者の状況を考えずに発言したり態度に表したりして、傷つけてしまうことがあります。

子どもならなおさらですね。今回の場面は、運動会の全校リレーで赤組のAさんがバトンを落として負けてしまい、しょんぼりしているAさんに声をかけるという設定です。今回の学習のポイントは、3つあります。

- ① 声をかける人に近づく。
- ② 声をかける人の顔を見る。
- ③ 温かい言葉かけをする。

です。相手の気持ちを考えて、温かい言葉かけはかけられた相手の心を癒すだけでなく、温かい言葉をかけた自分自身も温かな気持ちになり、やさしい心が育つと思います。

「情けは人のためならず」という言葉があります。人にやさしくすれば、やさしくされた人だけでなく自分自身がやさしくされたり自分自身の心が大きく成長したりして、自分のためになるという意味です。

学級や全校でもっと相手を思いやる温かな言葉かけが広がってほしいと思います。

